



Clover

文化祭を振り返って

1年1組で文化祭の最優秀賞は残念ながらとることはできませんでした。クラスでの取り組みでテノールが最初に声が出なかったり、練習中にふざけていたりしました。パートリーダーとして歌い方の指示もパートメンバーに少ししかできませんでした。僕が文化委員なんだから、最初からテノールに注意や呼びかけをしたり、パートで指示をもっとたくさんしていれば、最優秀賞はとれていたかもしれません。だからもっと仕事をがんばりたかったです。でも1年1組の文化委員ができて僕は良かったです。理由は仲のいいクラスのみなんと1つのクラスとして歌が歌えたからです。来年は別のクラスだけど、同じように力いっぱい歌を歌いたいです。

1組の声に・・・熱盛イイイ!!!

1組



皆は「最優秀賞はとれなかったけど」って言うけれど私はそうは思っていません。なぜなら全力で歌えたり、楽しく歌うことができたからです。はじめのころはふざけていた人が最後のころになったらふざけなくなったり、大きな声で歌えるようになっていったりしたからクラスには大きな成長があります。成長はこれから大事なことになるっていったり、思い出へとなくなっていきます。そんな風に考えると「取れなかったけど」なんて言葉は必要じゃないと思いました。自分自身が全力をつくすことができたのなら、それでいいと思うし、成長できたと思えることも良いと思います。なぜなら、しっかりと自分を見つめているからです。中学校で初めての文化祭だったけれど、全力で歌うことができたし、成長することもできたので、とても良い文化祭になったと思います。

1組

オープンスクール授業のお知らせ

1組	2組	3組	4組
理科	英語	体育	体育



今回の文化祭は私たちが初めてで、自分たちはうまく歌えていたかなとか、最優秀賞とれたかなとか、いろいろな気持ちがありました。私は文化祭の取り組みが始まって、確かに最優秀賞を取るのも大変だけど、まずは私たちが団結するのが大切だと思いました。みんなで協力して、そこから自分たちの歌に魂が入ると思いました。2組のクラス合唱は強弱が難しかったりしました。色々なところで音程がズレたり、それでもみんなは「だいじょうぶ?」とか「あともう少し」とか、優しい言葉を言ってくれました。ノドも痛かったり、何度か歌詞を間違えたりもしたけど、文句を言わず、一生懸命歌いました。文化祭当日は最初から「やるぞ!」という気持ちがあって、でも緊張していて、最後にみんなで声を合わせて文化祭で全校生の人に声を届けられたと思います。

2組



ぼくは文化祭の練習の時、最初の方はふざけていたりして、はっきり言って最優秀賞を取ろうなどという気持ちはありませんでした。けれど、何回も注意されたり、真剣にしている人たちを見たりして、少しずつ意識や練習に対する姿勢が変わってきました。ぼくは文化祭本番でがんばれたことも、練習がよくなっていったことも本当にパートリーダーの人や実行委員の存在が大きかったと思います。何回注意しても聞いてくれなかったりして本当に大変だったんじゃないかなと今なら思えます。だからこそ、その人たちはすごいと思うし、ぼくもそういった人を目指したいです。そして、次このような行事がある時は最初から最後までしっかりと頑張れるようにしたいです。最後は最優秀賞という結果も残せたので練習をしてよかったと思えたり、いい文化祭になってよかったです。

2組



文化祭は最優秀賞をとれなくて残念でした。他のクラスや学年の合唱を聴いていたら、音の強弱がはっきりわかって、テノールも音程がとれていたクラスが多くて、それを聞いてよかったです。でも私たちのクラスは練習が少し足りなかったんだと思いました。パートの練習ではリーダーの人や先生のアドバイスを注意して生かすことが出来ました。練習の最初の方はやっぱり移動が遅かったり、態度が悪かったりして、それが本番が近づいてもあまり変われなかったのが悪かったんだなと思いました。練習の本当の最後まで歌がきれいに仕上がった時はうれしかったです。今回は最優秀賞をとれなかったけど、実はそれほどくやしいと思いませんでした。次は最初から練習をがんばって最優秀賞をとれたら心の底からくやしいと思えるようにとりくみたいですね。

4組